

小学校児童指導要録記入例

小学校児童指導要録（参考様式）

様式1（学籍に関する記録）

学籍に関する記録は、学齢簿の記載に基づき、学年当初及び異動の生じたときに記入する。		<table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>学級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>整理番号</td> <td></td> </tr> </table>	区分	学年	学級		整理番号		児童の毎学年の所属学級と番号を記入する。 整理番号は、学校の実情に応じて適切に付ける。
区分	学年								
学級									
整理番号									
学籍の記録									
児童	ふりがな		性別						
	氏名								
	生年月日	平成 年 月 日生	入学・編入学等	平成 年 月 日 第1学年 入学 第 学年編入学					
保護者	ふりがな		性別						
	氏名								
児童	現住所	住所変更も、学齢簿の変更に基づく。二重線を引いて消し、新住所と変更の年月日を記入する。	転入学	平成 年 月 日 第 学年転入学					
	現住所	児童の現住所と同一の場合は「児童の欄に同じ」と略記できる。	他の小学校から転校してきた児童について、転入学年月日、転入学年、前に在学していた学校名、所在地及び転入学の事由等を記入する。						
保護者	ふりがな		性別						
	氏名								
保護者	現住所	児童の現住所と同一の場合は「児童の欄に同じ」と略記できる。	他の小学校に転学する場合には、上段に学校を去った年月日、下段に転学先の学校が受け入れた年月日の前日（除籍日）、転学先の学校名、所在地、転入学年及びその事由等を記入する。						
	転学・退学等		(平成 年 月 日) 平成 年 月 日						
入学前の経歴	小学校に入学するまでの教育又は保育関係の略歴を記入する。		進学先	進学先の中学校（部）名及び所在地を記入する。					
学校名及び所在地 (分校名・所在地等)	正確な学校名を記入する。また、所在地も正確に記入する。								
年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度						
区分 / 学年	1	2	3						
校長氏名印	各年度に、校長の氏名、学級担任者の氏名を記入し、それぞれ押印する。同一年度内に校長又は学級担任者が代わった場合には、その都度後任者の氏名を併記する。その場合は、前任者の氏名の下に期間を記入する。臨時的任用教員については、産休代替等で当該学年の一部を担当した場合、氏名を記入し、その下に括弧書きで期間を記入する。								
学級担任者氏名印									
年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度						
区分 / 学年	4	5	6						
校長氏名印									
学級担任者氏名印									

様式2 (指導に関する記録)

児童氏名	学校名	区分	学年	1	2	3	4	5	6
		学級							
		整理番号							

各教科の学習の記録										外国語活動の記録								
I 観点別学習状況										観点								
教科	観点	学年	1	2	3	4	5	6		5	6							
国語	国語への関心・意欲・態度									コミュニケーションへの関心・意欲・態度 外国語への慣れ親しみ 言語や文化に関する気付き	評価の観点を記入し、それらの観点に照らして、児童の学習状況に顕著な事項がある場合に、その特徴を記入する等、児童にどのような力が身についたかを文章で記入する。							
	話す・聞く能力	観点別学習状況については、小学校学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を観点ごとに評価し、A、B、Cの記号により記入する。 この場合、「十分満足できると判断されるもの」をA、「おおむね満足できると判断されるもの」をB、「努力を要すると判断されるもの」をCのように区別して、評価を記入する。また、特に必要があれば、観点を追加して記入する。																
	書く能力																	
	読む能力																	
社会	言語についての知識・理解・技能																	
	社会的事象への関心・意欲・態度																	
	社会的な思考・判断・表現																	
算数	算数への関心・意欲・態度																	
	数学的な考え方																	
	数量や図形についての技能																	
理科	数量や図形についての知識・理解																	
	自然事象への関心・意欲・態度																	
	科学的な思考・表現																	
生活	観察・資料活用																	
	社会的事象についての知識・理解																	
	生活への関心・意欲・態度																	
音楽	活動や体験についての思考・表現																	
	身近な																	
	音楽への関心・意欲・態度																	
図画工作	音楽法																	
	鑑賞の																	
	鑑賞の																	
家庭	造形への関心・意欲・態度																	
	発想・発想的創造的																	
	鑑賞の																	
体育	家庭での生活																	
	生活での																	
	家庭での																	
健康	運動への関心・意欲・態度																	
	運動の																	
	運動の																	
II 評定										総合的な学習の時間の記録								
学年	教科	国語	社会	算数	理科	音楽	図画工作	家庭	体育	学年	学習活動	観点	評価					
3										3				総合的な学習の時間については、この時間に行った学習活動及び指導の目標や内容に基づいて定めた評価の観点を記載したうえで、それらの観点のうち、児童の学習状況に顕著な事項がある場合などにその特徴を記入するなど、児童にどのような力が身に付いたかを文章で記述する。 なお、学習活動の欄は、活動の内容が理解できる表現で記入する。				
4									4									
5									5									
6									6									
										特別活動の記録								
										内容	観点	学年	1	2	3	4	5	6
										学級活動	特別活動における児童の活動については、各内容ごとにその趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合には、○印を記入する。 なお、評価の観点は、指導要録作成時に記入しておく。							
										児童会活動								
										クラブ活動								
										学校行事								

児童氏名	行動の記録については、各教科、特別活動、総合的な学習の時間、その他学校生活全体にわたって認められる児童の行動について、各項目ごとにその学年別の趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合には、○印を記入する。また、特に必要があれば、項目を追加して記入する。
------	---

行 動 の 記 録															
項 目	学 年	1	2	3	4	5	6	項 目	学 年	1	2	3	4	5	6
基本的な生活習慣								思いやり・協力							
健康・体力の向上								生命尊重・自然愛護							
自主・自律								勤労・奉仕							
責任感								公正・公平							
創意工夫								公共心・公德心							

総 合 所 見 及 び 指 導 上 参 考 と な る 諸 事 項	
第1学年	<p>総合所見及び指導上参考となる諸事項については、児童の成長の状況を総合的にとらえるため、以下のような事項などを記入する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 各教科や外国語活動、総合的な学習の時間の学習に関する所見 特別活動に関する事実及び所見 行動に関する所見 児童の特徴・特技、学校内外における奉仕活動、表彰を受けた行為や活動、学力について標準化された検査の結果等指導上参考となる諸事項 児童の成長の状況にかかわる総合的な所見 <p>記入に際しては、児童の優れている点や長所、進歩の状況等を取り上げることが基本となるよう留意することが望まれる。ただし、児童の努力を要する点などについても、その後の指導において特に配慮を要するものがあれば記入する。</p> <p>なお、4については、標準化された学力等の検査を受けていない児童については、受検していない旨を記入する。また、知能検査を実施した場合は、実施年月日と知能SSを記入する。</p> <p>通級による指導を受けている児童については、通級による指導を受ける学校名、通級による指導の授業時数、指導期間、指導の内容や結果等を記入する。</p> <p>通級による指導の対象となっていない児童で、教育上特別な支援を必要とする場合については、必要に応じ、効果があったと考えられる指導方法や配慮事項を記入する。</p>
第2学年	
第3学年	<p>○道徳科の評価欄については、「総合所見及び指導上参考となる諸事項」の欄と明確に分け、道徳科単独の評価の記述欄であることがわかるように示す。その際、「道徳科における学習状況及び及び道徳性に係る成長の様子」と明示し、教科等の学習状況を記載する頁には、「道徳科における学習状況及び及び道徳性に係る成長の様子は○に記載」というような注釈を示す。</p>

出 欠 の 記 録						
区分	授業日数	出席停止・ 遅刻等の日数	出席しなければ ならない日数	欠席日数	出席日数	備 考
1						
2						
3						
4						
5						
6						